

*** 今日の健康 (1月) ***

< インフルエンザの流行状況と同時期の感染症 >

東京都 12 月 27 日発表の (第 11 号) のトピックスによると

東京の 2019 年第 51 週 (12 月 16 日～12 月 22 日) のインフルエンザ患者報告数は 9,119 人、定点当たり 22.30 人で昨年同時期の定点当たり 7.79 人を大きく上回りました。

武蔵野市を通過する中央線沿線では八王子市 (33.78 人/定点)、多摩小平 (32.59 人/ 定点)、中野区 (30.90 人/定点) で定点当たり患者報告数が 30 人を超えています。また 51 週 のインフルエンザ様疾患による集団発生事例は 377 件でした。



全国でみると第 51 週 (12 月 16 日～12 月 22 日) の定点当たり患者報告数は定点当たり 21.22 人で、1 週間当たりの推定患者数は約 737,000 人でした。前週の値 (約 517,000 人) を更に大きく上回っており、9 週連続で増加が続いています。

12 月 23 日の 1 日当たりの推定患者数は約 188,000 人と今シーズンの最多 (約 145,000 人) を更新しています。年末に向けて 2 週に渡り学校等の冬期休暇の時期に入ったため、推定患者数の増加は鈍化し横ばい傾向となると推測されていますが、新学期が始まると再び増加する可能性がありますので手洗いうがいなど予防に努めましょう。

冬季にインフルエンザ流行時期に一致して流行する感染症に感染性胃腸炎や溶連菌感染症 (A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎) などがあります。

感染性胃腸炎は毎年 11 月から増加し、12 月頃をピークとして 2 月頃まで多発します。主にウイルスを原因とする胃腸炎で、原因となるウイルスには「ノロウイルス」「サポウイルス」「ロタウイルス」などがあります。感染性胃腸炎の原因として最も多いものは「ノロウイルス」ですが、2 月以降は「ロタウイルス」による胃腸炎が乳幼児に多く見られます。主な症状は腹痛、下痢、おう吐、発熱です。

溶連菌感染症も毎年 12 月～1 月のピークが夏を上回る大きな流行となっています。発熱やのどの痛みからはじまる症状に注意してください。特に小学校・幼稚園・保育園など学童・幼児の集団生活施設では流行の拡大を阻止するための対策が必要です。予防には、手洗い、うがいなどが有効です。

2019 年 12 月～2020 年 1 月はマイコプラズマ感染症にも注意が必要で、例年は 10 月～11 月をピークに 12 月には終息傾向にあります。今シーズンの 12 月患者数は例年よりも多く、1 月の流行も危惧されます。

前澤クリニック 内科・小児科 0422-30-2861

天文台通り多摩信用金庫のななめ裏